

地域情報化アドバイザー制度活用報告書（1日目）

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	弟子屈町	代表者名	徳永 哲雄
担当者部署	総務課防災情報係	連絡先電話番号	015-482-2912
担当者役職	課長補佐	担当者氏名	宮下 和之
住所	088-3292 北海道弟子屈町中央2丁目3番1号		
連絡先E-mail			

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	白井 芳明
評価	大変よい
上記評価の理由（どのよう なところがよ かったか等詳 細に）	職員に対するDX全般、主に自治体システムの標準化・共通化についての研修内容を、理解して貰うための内容として構築することができた。
アドバイザーへの要望事項	今後ともアドバイス等いただきたい。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）	活動時間（分）
3-1. 活動	2022年2月25日	15時00分	16時00分		60
3-2. 派遣場所	会場名	弟子屈町役場		最寄駅	JR摩周駅
	所在地	北海道川上郡弟子屈町中央2丁目3番1号		最寄駅からの交通手段	徒歩
	派遣形態	事前打合せ（オンライン）			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	職員	2人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 （具体的にご記入下さい）	令和7年度までの自治体システム標準化・共通化についての本町職員の認識が無いことから、窓口担当者を主とし、共通認識を図ることが課題となる。	
支援により目指す成果 （具体的にご記入下さい）	先ずは、どの様な事か、何故必要なのか、今後何をやる事が必要になってくるのか等の認識を図る。	
アドバイザーに支援を受けた内容 （具体的にご記入下さい）	他自治体への支援等の経験から、どの様な研修内容が最善かのアドバイスとそれに基づく、研修内容の提案をいただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容 （具体的にご記入下さい）	研修内容の組み立てと今後目指していく方向性の確認が図れた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	④人材育成のカリキュラムやツールを策定できた
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 （具体的にご記入ください）	研修会に対する事前打合せのため、特に持ち越しとなった内容はありせん。	

アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。）アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 研修会に対する事前打合せのため、アンケート等の実施はしていません。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい	③现阶段では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿	実現に向けた組織体制作りと円滑なシステム整備、業務体制の確保。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

